

# 井筒屋だより

第四十九号  
令和六年  
十一月号

## 「ナゾ歩き」と「フォトミッション」

## コラボで同時に楽しもう

秋本番。菊まつりも開幕し、井筒屋周辺では楽しい催しが目白押しです。中でも、笠間の街をワクワクしながら歩く「笠間街ナゾ歩き」と、「カサマフォトミッション2024」がコラボで12月24日まで開催中です。



「ナゾ歩き」は、(1200円)、様々な謎や暗号を解き明かし、定められた目的を達成する体験型の街歩きゲーム。井筒屋で専用キットを購入し

子からの依頼で、1000年前にかけられた鬼の呪術から笠間の街を救うために、街を歩いて謎を解きます。「フォトミッション」は、笠間市内の見どころを写真に撮って、決められたハッシュタグをつけてSNSにアップすると、入選者に笠間焼をはじめ、人気のモンブランなど豪華賞品がプレゼントされます。

門前通りの協賛店舗では、謎解きキットを提示すると、飲食やお土産の割引などの特典が受けられます。菊を鑑賞しながら、2つのイベントにご参加ください。

## 笠間の菊まつり開催中



菊まつりが始まり、今年も、丹精込めて育てられた菊が、井筒屋に飾られました。これに関連して、11月10日は「笠間きつねの祭典」で、井筒屋を中心にきつねの衣装をしたパレードが開かれます。菊まつりバージョンの御城印も期間限定で販売。2階の歴史展示コーナーには、「小野友五郎新聞コンクール」の入賞作品を展示しています。

### 11月、12月のイベント

#### 万葉亭小太郎の井筒屋の夜会 ～甲辰納めの会～

日時：11月23日(土)午後6時30分(開場6時)  
出演：ことぶきゆめこ(民話語り)  
万葉亭小太郎(落語)  
お馴染みの落語と、地元の民話をたっぷりお届けします。  
木戸銭：500円



#### 井筒屋歴史講座

#### 「忠臣蔵と笠間の縁、笠間生まれの義士」

日時：12月3日(火)午前10時～11時30分  
(受付9時30分から)  
笠間生まれの義士について解説します。  
講師：南秀利(笠間史談会会長)  
参加費：300円  
(11月7日より受付開始。資料準備のため、必ずご予約願います)



かさま歴史交流館井筒屋 笠間市笠間987 電話 0296-71-8118

開館時間 午前9時～午後9時

～このお便りでは、井筒屋の日々の様子やイベントの開催予定等をお知らせしています～



歴史こらむ

忠臣蔵と笠間

師走といえば、忠臣蔵(赤穂義士)。12月14日には笠間義士会でパレードなどの催しが行われる。そこで、なぜ笠間に義士会があるのか、その関係を紹介したい。

元禄14(1701)年、江戸城内の松の廊下で赤穂藩藩主・浅野内匠頭長矩(あさのたぐみのかみながのり)が高家肝煎・吉良上野介義央(きらくこうすけのすけよしひさ)に刃傷に及ぶ。浅野長矩は即日切腹となったが、吉良義央はお咎めなし。その結果を不服とする大石内蔵助良雄(おおいしくらのすけよし)したか)ら四十七士が、紆余曲折のすえに吉良義央を打ち取った。これが史実としての赤穂事件で、忠臣蔵の題材となっている。

この浅野長矩の曾祖父と祖父が笠間藩主だった。つまり、浅野長矩は笠間藩主の子孫で、四十七士のうち、吉田

忠左衛門(よしだちゆうざえもん)、小野寺十内(おのでらじゆうない)、堀部弥兵衛(ほりべやへえ)の3人は笠間出身である。この縁で、笠間では昔から赤穂義士を偲ぶ活動が行われていて、昭和5年には笠間義士会が正式発足している。

浅野家が笠間を統治していたのはわずか23年ではあるが、その間に笠間は大きく発展した。それを行ったのが、長矩の祖父にあたる浅野長直だ。

今回はその長直の功績について触れたい。(雄)



義士パレードと忠臣蔵講談

【井筒屋ニュース】

井筒屋ジオハイキング



筑波ジオガイドの案内で、佐白山の豊かな自然を堪能し、ハイキングを楽しみました。

12月14日に開催



今年も笠間義士会主催の「赤穂義士パレード」と「忠臣蔵講談」が、討ち入りの日である12月14日に開催されます。

パレードは午後1時30分に集合し門前町などを練り歩きます。講談は午後3時30分より、笠間稲荷神社の稲光閣で、真打の一龍齋貞鏡さんによる赤穂義士伝の講談が披露されます。

一般参加者募集中です。参加費は1人1000円。義士パレードの陣羽織は、貸し出します。講談のみの参加も可能。申し込み、問い合わせは井筒屋(0296-71-8118)まで。



フォルクローレ パーニャ  
ギターとピアノの生演奏に合わせて、参加者全員でフォルクローレの踊りパーニャを楽しみました。



菊のつるし飾り  
こっこんくらぶ花いちもんめさんによる館内の縮緬つるし飾りは、新作の菊や秋をモチーフに彩られています。

【後記】

俳優の西田敏行さんが亡くなりました。数多くの名演技の一つに、NHKのスペシャルドラマ「坂の上の雲」の高橋是清(これきよ)役があります。明治から昭和にかけての財政家・政治家で、日本銀行総裁や大蔵大臣、総理大臣も務めました。日露戦争の戦費調達は有名で、満州事変後に軍事費を抑制したところ、軍部の恨みを買って二二六事件で暗殺されています。そんな是清の政治家になる以前の姿を西田さんは堂々と演じました。これが骨ある日本男児か、と思える名演でした。その是清の書が春風万里荘にあります。この秋、是清と西田さんを偲びに、行ってみたいかと思っています。(雄)